

園だより

2024年3月号
2024年3月1日発行

卒園に贈るメッセージ

♪きみは神様にネ はなしたことがあるかい ころろにあるままをうちあけて
天の神様はネ きみのことなんでも わかっておられるんだ なんでもね
だから空あおいで かみさまとひとこと 祈ってごらんよ わかるから
小川のほとりでも 人ごみのなかでも ひろいせかいの どこにいても
ほんとの神様は いまもいきておられ おいのりにこたえてくださる ♪
(さんびか「祈ってごらんわかるから」)

2月の誕生会で、もうすぐ幼児クラスになるこあら組の子ども達ともうすぐ
年長組になるぱんだ組の子ども達に『いのちの話』をしました。
胸に手を当てて『みんなのここ(胸)には、トクトクと動く心臓があるね。お
医者さんの聴診器をあてると心臓の音が聞こえるんだよ。これが命の音です。
そして、命の奥にはたましい(魂)があって、神様がひとり一人に「生まれて
きてくれてありがとう」「君は大切だよ」「いつも守っているよ」と声をかけて
いるのです。神様の声を聞きたいときは、こうしてお祈りをしてくださいね
と。3~4歳の幼い子どもでも、じっと目を見て耳を傾けて聴いてくれました。

卒園するきりん組の子ども達は、毎年クラスのテーマソングとして「祈って
ごらんわかるから♪」という讃美歌を1年を通して歌ってきました。小学校
に行ったら聖書の話は聞かなくなるけれど、黎明保育園で覚えた讃美歌やお祈
りや聖書の言葉が子どもたち一人ひとりの心に根付いて残っていてほしい。そ
して、喜びの時や壁にぶち当たった苦しみの時、暗闇の悲しみの時、どんな時
でも共にいてくださる神さまに気づいて、祈ってほしいと願うのです。巣立っ
ていく子ども達へ贈る、心からのメッセージです。



園長 三幣典子

『わたしはあなたと 共にいる。』
(イザヤ書43章5節)